

2012 - 2013年度版 競技規則 主な改正点

1. 80cmマルチ標的面の使用距離

6リング:50m、40m、30m

5リング:30m

5リングは2015年1月1日以降廃止する(p53)

2. ミックス戦

第106条4項 - (6)

第106条9項 - (7):CP

第107条5項 - (5):インドアラウンド

・チームは、予選ラウンドに出場した競技者のうち、上位3名(ミックスは男女1名ずつの2名)で構成する。ただし、チームキャプテンは競技開始の1時間前までにDOSまたは審判長に書面で通知することにより、予選ラウンドに出場した競技者と交代させる事が出来る。メダルは、交代して団体戦に出場した競技者に授与する。

3. コンパウンドマッチラウンド:第106条9項 2011年4月以降追加改訂分(p11)

9 コンパウンドマッチラウンド

(1) 予選ラウンドは50m、80cm標的面6リングを使用し72射する。

(2) 個人戦決勝ラウンドの1～4回戦(イリミネーションラウンド)は、50m予選ラウンドの順位により、上位男女各104名を、予選ラウンドの順位に従ってトーナメント表に割り付ける(オリンピックラウンド個人戦トーナメント表参照)。(上位8名は1/48、1/24には出場しない)各マッチは3射5エンドで行う(セットポイントではなく得点による)。

(3) 個人戦決勝ラウンドの準々決勝戦～決勝戦(ファイナルラウンド)は、イリミネーションラウンドに勝ち残った上位8名が、個別のマッチを行う。各マッチは3射5エンドで行う。競技者は、20秒以内で1射ずつ交互に行射する。ただし3射5エンドを同時に行射することができる。

(4) 団体戦決勝ラウンドの1～2回戦(イリミネーションラウンド)は、予選ラウンドの合計得点の順位により、上位16チームが出場する。各マッチは、6射2分(1名2射)4エンドの同時射ちの一連のマッチを行う。

(5) 団体戦決勝ラウンドの準決勝戦～決勝戦(ファイナルラウンド)は、イリミネーションラウンドに勝ち残った上位4チームが、一連のマッチを個別に行う。各マッチは、6射2分(1名2射)4エンドで行う。3射区切りで交互に行射する。時間は、競技者が1mラインを横切った時に、開始・停止する。ただし、上記のマッチを同時射ちで行うことができる。

(6) ミックス団体戦は、同一チームに所属する男女の予選ラウンド最上位者の合計得点の順位によって構成される16チームが出場し、一連のマッチを行う。各マッチは、4射80秒(1名2射)4エンドを、同時射ちで行う。

(7) チームは、予選ラウンドに出場した競技者のうち、上位3名(ミックスは男女1名ずつの2名)で構成する。ただし、チームキャプテンは競技開始の1時間前までにDOSまたは審判長に書面で通知することにより、予選ラウンドに出場した競技者と交代させる事が出来る。メダルは、交代して団体戦に出場した競技者に授与する。

(8) コンパウンドイリミネーションおよび決勝ラウンドは、50mで80cm標的面6リングを使用する。

4. 不戦勝の決定について

第106条10項:アウトアラウンド(p11)

第107条5項 - (6):インドアラウンド(p20)

以下の場合、そのマッチを不戦勝マッチとする。交互射ちの場合、シューティングの順番が決定された時点で両競技者またはチームの一方がその場にいないとき。または、同時射ちの場合、一方の競技者またはチームが競技の開始時にその場にいないとき。その時点で、その場にいる競技者またはチームをそのマッチの勝者とする。

第108条8項:フィールドラウンド(p26)

以下の場合、そのマッチを不戦勝マッチとする。一方の競技者またはチームが、競技の開始時にその場にいないとき、その時点で、その場にいる競技者またはチームをそのマッチの勝者とする。

5. 練習時間について:第115条(p36)

予選ラウンドでは、連日、最小20分から最大45分までの練習時間が設けられる。練習矢が抜かれることにより、練習は終了する。練習用標的は、各クラスの最初の距離に設置される。イリミネーションラウンドおよびファイナルラウンドが行われる場合、練習時間の長さは日程を考慮して決定することができ、速やかに競技を開始する。

6. 決勝ラウンドでバイの選手の練習:第209条2項(3) - (p65)

バイ競技者は競技会場で、1エンド3射の練習が出来る。審判員が、1エンドに3射を超えた競技者に警告を与えた場合、その競技者は以後の練習をすることができない。しかし、その違反行為は次のマッチに影響するものではない。

7. 競技者の遅刻について:

第211条10項:アウトアラウンド(p74)

第310条10項:インドアラウンド(p103)

競技会に遅刻した競技者は、すでに行射された数の矢を補充することはできない。ただし、審判長またはその指名代理者が不可抗力であると認められた場合はその限りではない。

8. 失格についての罰則、条文追加

第212条7項:アウトアラウンド(p75)

第311条7項:インドアラウンド(p104)

(2)採点について、正式の承認なしの書き換え、虚偽行為、又は意図的な書き換えを行った者。

(3)スコアラーによってその得点の確認される前にターゲットから抜かれた矢は、0点(M)とされ、その後もこの違反行為を繰り返す競技者。

(5)スポーツマンにふさわしくない行動は、許されない。そのように行動した競技者、および競技者のそのような行動を促進させたとみなされる者は、失格となり、それ以降の競技会への出場は停止となる。

第413条7項:フィールドラウンド(p126)

(2)採点について、正式の承認なしの書き換え、虚偽行為、又は意図的な書き換えを行った者。

(3)スコアラーによってその得点の確認される前にターゲットから抜かれた矢は、0点(M)とされ、その後もこの違反行為を繰り返す競技者。

(5)スポーツマンにふさわしくない行動は、許されない。そのように行動した競技者、および競技者のそのような行動を促進させたとみなされる者は、失格となり、それ以降の競技会への出場は停止となる。

9. インドア用標的面のデザイン変更・追加について:第302条1項(p85)

通常の三つ目標的面のほかに、R(リカーブ)用およびC(コンパウンド)用を区別する。40cm三つ目標的面(三角、縦型とも)の10点は、40cm-Rが4cm、40cm-Cが2cmである。複合型の三つ目標的面は、2つの10点帯を有する。

・40cm縦三つ目標的面(複合型)

・40cm-R三角三つ目標的面

・40cm-C三角三つ目標的面

・40cm-R縦三つ目標的面

・40cm-C縦三つ目標的面

R:リカーブ用、C:コンパウンド用